

新潟地方气象台(令和6年3月23日発表)の3か月予報では、4月から6月は暖かい空気に覆われやすいため、気温は平年より高く、降水量、日照時間は平年並みの予報です。ヤケ苗、ムレ苗などの温度障害に注意して育苗管理を行いましょう。

稲作技術情報

～ 本田作業と移植 ～

余裕のある作業計画を立て、作業時には農作業事故に十分注意してください。

1. 作土層の十分な確保に向けた耕起について

水稲の根は約8割が作土層に分布し、養分と水分の大部分も作土層から得ています。耕深15cmを目標とした耕起によって作土層を広げ、根の健全な発達を図りましょう！

【深耕により期待される効果】

- 根が深くまで分布し、養水分の吸収効率が高まります。
- 作土層が浅い圃場と比べて肥料が長く持続します。
- 高温被害や根上がり等が軽減され、夏季高温でも収量の向上が期待されます。

耕起作業は圃場内が極力乾いた状態で行いましょう！

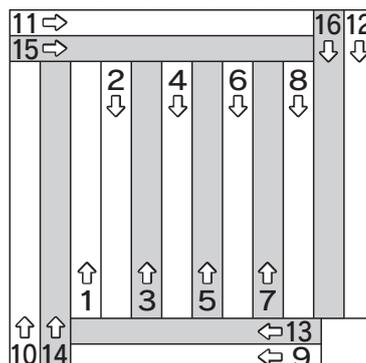
- ①土壌を乾燥させることで土壌内の窒素の発現量が増加します。(乾土効果)
- ②過湿の状態での耕起は、深さが不均一になりやすくなります。
- ③土壌が乾いていないと、稲わらの腐熟が進みにくくなります。乾土効果が期待できないだけでなく、ワキの発生などによって、稲の生育に悪影響を及ぼします。

大きなトラクターでなくても耕深15cmを確保するために「回り耕ち」をお勧めします。作業時間は通常の耕起と大きな差は無く、枕地が深くないメリットもあります！

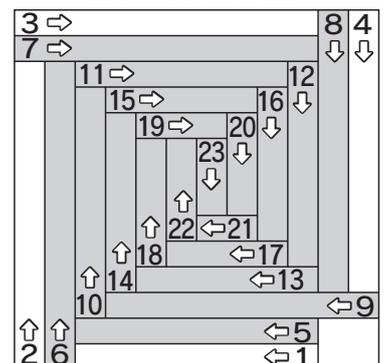
【トラクター順路図】

(令和2年度改定版 新潟米おいしい米づくりのポイントより)

【一般的な順路】



【回り耕ち順路】



【回り耕ちの方法】

ロータリーの左側にチェーンケースがある場合は、時計回りで耕起しましょう。(右の場合は反時計回り)

チェーンケースが耕起した土中まで下がり、一般的な順路よりも耕深が深くなります。

※図の黒い部分はチェーンケースが土中まで下げられる部分です。

2. 移植日に合わせた代かきについて

代かき直後の移植は、浮苗による欠株が生じやすい為、代かきは移植の2～3日前を目途に実施しましょう。また、移植までに1週間以上期間が空く圃場では、雑草対策として初期除草剤の移植前処理をお勧めします。

環境に配慮した作業について

代かきを行うと、被覆肥料（粒状一発肥料等）の肥料成分が溶出した後のプラスチック葎が水面へ浮遊し、圃場から河川等へ流出する可能性があります。

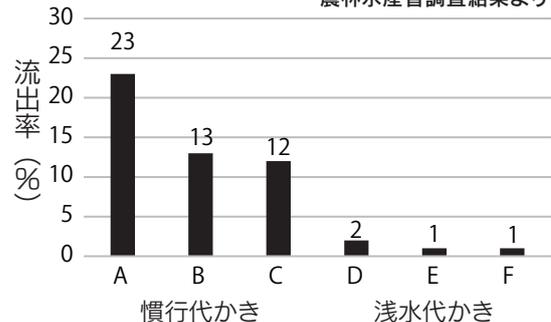
浅水での代かきなど、圃場から流出させない取り組みにご協力ください。

～流出防止のポイント～

畦畔管理	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な畔塗りで漏水を防ぎましょう。 止水板は畔の高さ程度とし、水尻からの流出を防ぎましょう。
水管理	<ul style="list-style-type: none"> 代かきは、ワラが浮かない程度の水量で行い、直後の排水は控えましょう。 田植え時は強制落水せず、自然落水で水位を調整しましょう。

【浅水代かきによる流出率の比較】

農林水産省調査結果より



**田面の凹凸は除草剤効果の低下や薬害の原因となります
代かき時に田面を均平に仕上げましょう！**

3. 初期除草剤による雑草対策について

作業日程や用途に応じて、的確に初期除草剤を散布しましょう！

※散布時は、水深3～5cm程度湛水し、水口と水尻は必ず止めてください。

品名		使用量(10a)	使用時期
ユニハーブフロアブル		500 ml	代かき（植代）後～移植7日前
草笛フロアブル		300 ml	
メテオ	1キロ粒剤	1 kg	移植時
	フロアブル	500 ml	移植直後～ノビエ1.0葉期(但し、移植後30日まで)

【移植前処理の使用時期】

移植前処理を行うと処理日を含めた7日間は移植できませんのでご注意ください。

日付	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土
日数	移植7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	移植日 (0日前)
適用 代かき後～移植7日前	初期剤 散布	×	×	×	×	×	×	

◎前作と違う品種を作付けする場合の対策

前作の漏生籽による異品種混入（コンタミ）防止のために初期除草剤（ユニハーブフロアブルやソルネット1キロ粒剤）の散布を検討しましょう。

4. 移植作業（田植え）について

(1) 5月10日～25日頃を目安に移植しましょう！

コシヒカリの過度な早期の移植は避け、5月10日以降の移植により、出穂期が8月以降になることで高温障害(白未熟粒等)の緩和が期待されます。

また、極端に遅い移植は、分けつの発生が少なくなるため、植え付け株数を増やして茎数を確保すると、収量の安定化に繋がります。

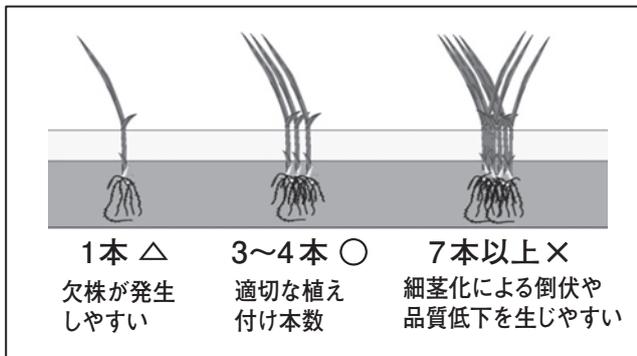
(2) 植え付け本数は3～4本がベスト!

植え付け本数が多く過繁茂になると、茎が細くなり、倒伏や品質・収量が低下する恐れがあります。逆に植え付け本数が少ないと欠株が生じやすくなり、収量が不安定になります。(図1参照)

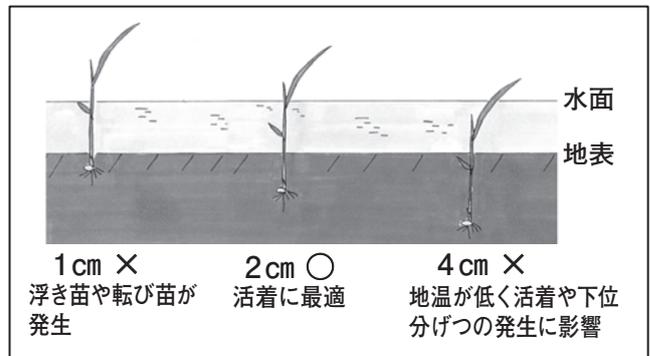
(3) 植え付け深さは2～3cmに調整!

4cm以上の深植えでは初期生育が劣り、分けつの発生が抑制されます。極端な浅植えは浮き苗による欠株や除草剤の薬害発生の原因になります。(図2参照)

【図1 植え付け本数】



【図2 植え付け深さ】



植え付け本数、植付け深さ、株間などを随時確認して、適正量を移植しましょう。補植は早めに行い、残った苗は、速やかに圃場外に撤去しましょう。

～ 移植後の水管理と初中期一発除草剤の使用 ～

1. 初期生育確保のための水管理について

好天日は浅水管理で水温を上げて、活着・分けつを促進しましょう。

入水を行う際は早朝に行い、日中は水温上昇を図りましょう。

活着前			活着後～中干し
	通常時	好天時	低温・荒天時
水位			
	やや深水管理 (3～4cm) ・低温や風による 植え傷みを回避	浅水管理 (2～3cm) ・水温を上げ、早期 活着を促す	深水管理 (7～10cm) ・保温に努める
			やや浅水管理 (2～3cm) ・水温を上げ、分けつ の早期発生を促す
			水位

水は限りある資源です。用水は大切に使い、かけ流しは絶対に行わないでください。

2. 初中期一発除草剤の散布について

(1) 散布後2～3日間は水位を保ちましょう！

散布後2～3日間は極力入水を行わないようにしましょう。水持ちの悪い圃場で、やむを得ず入水する場合は、除草剤の処理層を壊さないよう、なるべくゆっくり入水しましょう。

(2) 除草剤は、早めに散布しましょう！

雑草の初発生時(草丈1～2cm)は土中に隠れていることが多く、目視で確認できる頃には草丈は大きくなっています。田面に雑草が確認できた際は、早めに散布しましょう。

★お勧め除草剤★

品名	剤型	使用時期	特 徴
ベツカク	1キロ粒剤	・ 移植時 ・ 移植直後～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	ノビエ、クログワイ、オモダカなどによく効き、ノビエの後発生も長く抑えます。
	ジャンボ	・ 移植後3日～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	
	豆つぶ250		
カウンシルエナジー	1キロ粒剤	・ 移植時 ・ 移植直後～ノビエ3.5葉期 (但し、移植後30日まで)	ノビエに対する残効性が長いほか、アゼナ類、コナギにも効果を示します。
	フロアブル		
	ジャンボ	・ 移植直後～ノビエ3.5葉期 (但し、移植後30日まで)	
アツパレZ	1キロ粒剤	・ 移植時 ・ 移植直後～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	SU抵抗性ホタルイや多年生雑草のクログワイ、オモダカなどに高い効果を示します。
	フロアブル	・ 移植後3日～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	
	ジャンボ		
天空	1キロ粒剤	・ 移植時 ・ 移植直後～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	SU抵抗性雑草に高い効果を示し、多年生雑草は地下部にも効き、発生を抑制します。
	フロアブル		
	ジャンボ	・ 移植後1日～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	

【適要別の使用時期】

日付	5/11		5/12	5/13	5/14	5/15	～	6/10	6/11
日数	移植日(0日後)		1日後	2日後	3日後	4日後		30日後	31日後
適用	移植時	移植直後							
移植時または移植直後～ ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	○	○	○	○	○	○	○	○	×
移植後3日～ノビエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	×	×	×	×	○	○	○	○	×



除草剤を含む農薬を使用する際は必ずラベルの使用基準を確認・厳守してください。

園芸技術情報

土づくり編

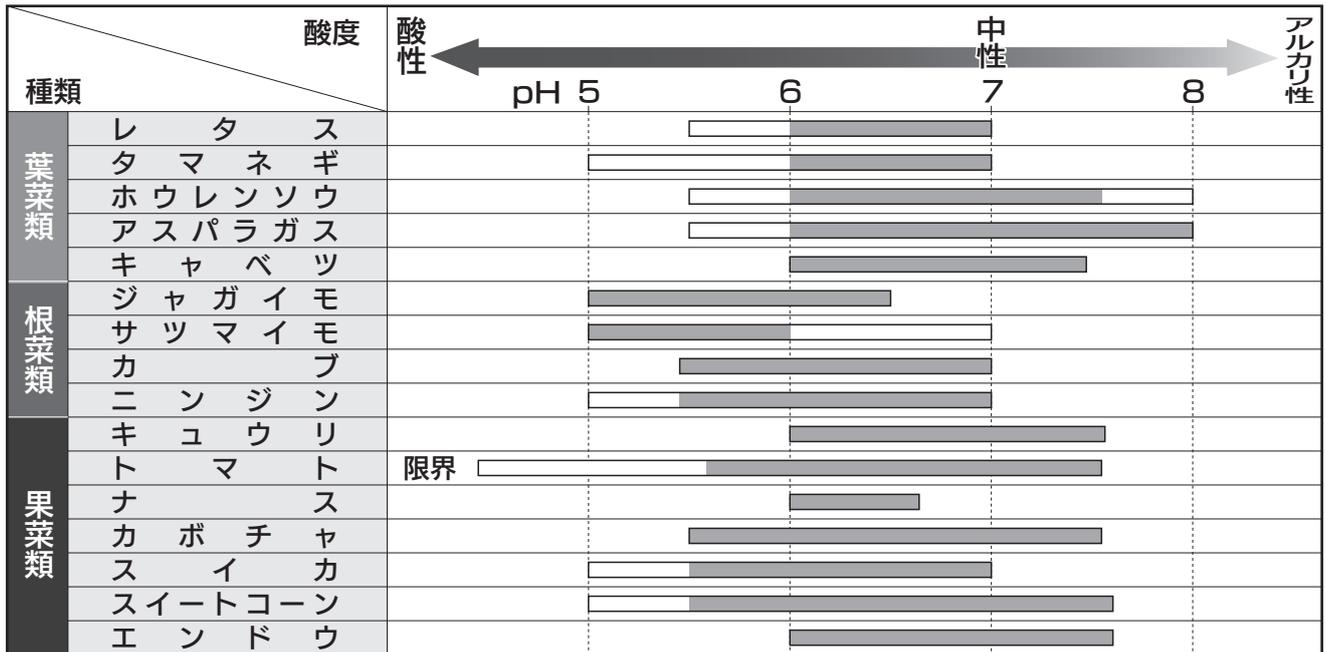
良い野菜を作るには土づくりが欠かせません。

春の定植シーズン前に2つのポイントとおすすめ資材で土づくりに力を入れましょう。

ポイント1 野菜が好む土の酸度

野菜にはそれぞれ成長しやすい土の酸度があり、pH(ペーハーまたはピーエイチ) 値で表されます。

〔野菜別の好酸度〕



上図を確認すると、一般的に野菜を作る場合pH6.0~6.5程度が理想的な土であると考えられますが、日本の一般的な土はpH5.0~5.5と酸性側にかたよっていることがほとんどです。野菜が成長しやすい酸度にするためには簡易酸度計等で現状の酸度を確認し、酸度矯正することをおすすめします。

●おすすめ資材

資材名	特徴
粒状苦土炭カル (M-10)	アルカリ分55% 粒状で撒きやすい。耕耘後3日程度で播種・定植可能。
DL消石灰(粉状)	アルカリ分72% 耕耘後1週間ほどで播種・定植可能。
畑のカルシウム	pH調整効果なし。pH調整できないがカルシウム供給があるジャガイモなどに効果的。

各JA資材店舗で簡易酸度計を販売しています！ご自身の圃場の土の酸度を計測してみましょう！



●pH調整に必要なおおよその石灰量 (10㎡)

土壌酸度		目標酸度	pH5.8	pH6.0	pH6.2	pH6.4
pH 5.5~5.0	苦土炭カル		0.25~0.75kg	0.45~0.90kg	0.65~1.10kg	0.85~1.30kg
	消石灰		0.20~0.50kg	0.30~0.60kg	0.45~0.75kg	0.55~0.85kg

ポイント2 肥料

肥料は野菜が育つために必要なものです。その中でも肥料の三要素と呼ばれるものは野菜の各部位に欠かせない養分です。

【肥料の三要素】

三要素	特 徴
窒 素 (N)	葉肥とも言われ、作物の葉を茂らせ、枝や莖を形成する。
リン酸 (P)	実肥・花肥とも言われ、開花や実の成熟に関係する。
カ リ (K)	根肥とも言われ、根の発育や耐寒性、耐病性を高める。

※他の要素として中量要素のカルシウム(Ca)、マグネシウム(Mg)や微量元素であるマンガン(Mn)、亜鉛(Zn)、ホウ素(B)、鉄(Fe)、モリブテン(Mo)、硫黄(S)などがあります。

●おすすめ資材

資材名	施用量 (10 m ²)	説 明
MMB燐加安 [14-10-13] <small>N P K</small>	1.0 ~ 2.0kg	微量元素を含む畑専用の化成肥料であり、園芸のオールマイティ肥料です。
果菜一発 [15-10-10] <small>N P K</small>	2.0 ~ 3.0kg	露地果菜類の全量元肥の一発肥料。窒素分は速効性の尿素のほか、有機質の菜種粕、および緩効性はロング(120日)・LPコート(100日)など3種類を含み、基本的には追肥はいらない。
ばれいしょ配合 [12-12-14] <small>N P K</small>	1.0kg	ばれいしょ専用肥料、生育に有効な腐植酸を約7%含む。
ネギ専用S403 [14-10-13] <small>N P K</small>	元肥 0.4kg 追肥 1.2kg	緩効性窒素のLPコート40とネギの生長に必要な硫黄分を含む。ネギの元肥・追肥の両方に適する。
NK化成 [18-0-18] <small>N P K</small>	適宜	窒素成分のうち、速効性の硝酸態窒素を50%含む。即効性なので、特に追肥に適する。



秋定植の品目は融雪直後に追肥し、肥大を促しましょう。

【イチゴ】

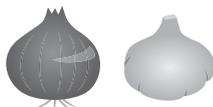
- ・越冬時に損傷した葉や枯葉を取り除く。
- ・追肥は枯葉かき終了直後に遅れずに施す。



追肥資材	10m ² 当たり
MMB燐加安	0.4kg

【タマネギ、ニンニク】

- ・1回目の追肥は融雪直後早めに行う。
- ・2回目の追肥は1回目から1か月後に行う。



	追肥資材	10m ² 当たり	
		1回目	2回目
タマネギ	N K 化成	0.3kg	0.4kg
ニンニク		0.3kg	0.3kg

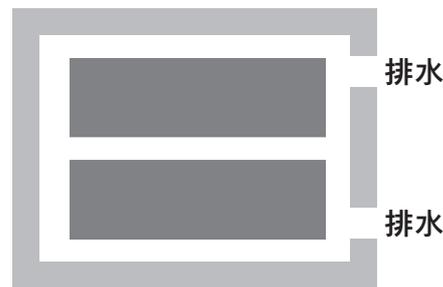
注意 追肥が遅れると品質低下に繋がります。

野菜の定植

1. 植え付け準備

(1) 石灰類による土壌酸度の矯正と有機質肥料の散布

石灰類と堆肥(有機質肥料)は、植付け1～3週間前(種類によって日数が違います。)に施用し、耕耘は、水持ち・排水を良くするために、深く耕耘することを心がけて行ってください。特に転作田など雨水のたまりやすい畑は、周囲に明渠(溝)を掘りましょう。(右図参照)



白線部分に溝を掘る

(2) 基肥と追肥について

植付け前に施す肥料を基肥、生育途中に施す肥料を追肥と呼びます。野菜の種類により、施肥の内容が異なりますので注意しましょう。

【肥料の効果と資材例】

① 基肥		② 追肥	
効果 ～比較的ゆっくり効く～		効果 ～比較的早く効く～	
MMB燐加安	果菜一発	NK化成	くみあい液肥2号

【野菜の種類による施肥のコツ】

果菜類	生育期間が長いので基肥には効き目の緩やかな肥料を主体にして、効き目の速い肥料で追肥を行います。また、果菜一発などの基肥一発肥料を使って追肥を行わない方法もあります。
葉菜類	生育期間が短いので、基肥を重点に施用し、追肥を行う際は早めに行います。
根菜類	ばれいしょ・大根など生育期間の短いものは基肥を重点に行います。また、さといも・人参など生育期間が長いものは基肥と追肥が必要となります。

(3) 基肥の施用と畝立て

植え付け5日前までに基肥を施用して、作物にあわせた畝立てを行います。併せて、必要な場合はマルチを張り地温上昇や雑草抑制に努めます。

👉 マルチ張りのポイント

マルチを張る際は、栽培中、水分不足にならないよう十分に畝を湿らせた状態で、気温が高い日中に行う。また、風ではがれることがあるので弛まないようにしましょう。

2. 苗の植え付け

(1) 早植えは禁物

雪が消え、日中が暖かくなっても、思いがけない低温や遅霜の日があります。極端な早植えは初期生育が悪くなるため、地温が15℃以上（平年は5/10以降）になる頃が植え付け適期です。

(2) 植え付けは天気の良い午前中が最適

根の活着のため、天気の良い暖かい日の午前中に植え付けましょう。逆に寒い日や風の強い日は根の活着が悪くなるため、なるべく避けましょう。

(3) 植え付けの方法

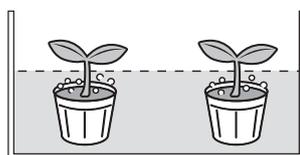
- ① 作物にあった間隔で植穴を掘ります。
- ② 植穴に予防用粒状殺虫剤（例：ダントツ粒剤）を入れ、土と混ぜる。
- ③ さらに植穴に、液肥200倍液を1穴当たり1ℓ程度入れる。
- ④ 植え付ける苗は、根張りを良くするためあらかじめ液肥200倍液に浸し、ポットから泡が出なくなったら、引き上げて水切りをしておく。

《液肥のうすめ方》



10リットルの水に対して、くみあい液肥2号を50cc（200倍）～25cc（400倍）にして入れ、よくかき混ぜる。

《液肥の浸し方》

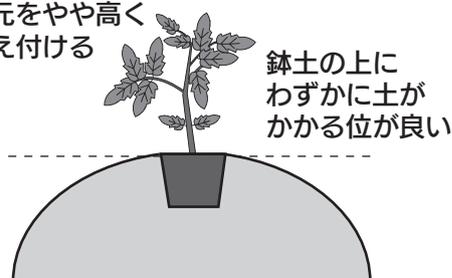


水を入れた容器に鉢ごと浸します。鉢土から泡が出なくなるまで十分浸してください（ぬるま湯の方がよい）。鉢を上げた後、1時間程度放置すると根鉢がしっかりする。

- ⑤ 植穴の液肥が完全にしみ込んだ後に、野菜苗を植え付ける。

★良い植え付け方

株元をやや高く
植え付ける

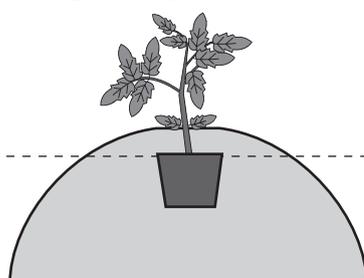


鉢土の上に
わずかに土が
かかる位が良い

温度・水分・酸素の供給面
から好ましい

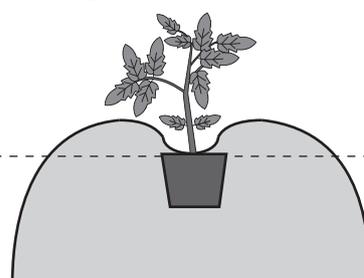
★悪い植え付け方

㊦ 深く植え過ぎ



地温が上がりにくく
莖の基部から侵入する
病害に弱い

㊧ 株元のくぼみ

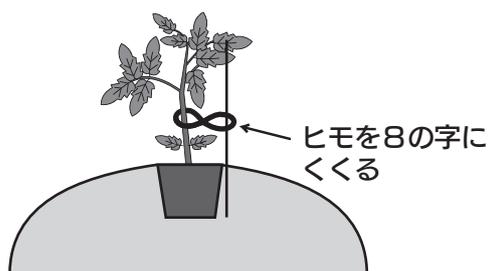


株元が排水不良で加湿に
なりやすい

- ⑥ 上図㊦のように深植をしないこと。特に、接ぎ木苗の場合は接いだ部分が土に埋まらないように植え付ける。また、マルチ穴のフチはしっかりと土で覆って、隙間からの熱風で苗を焼かないように注意する。

⑦ 植え付け後に仮支柱を立て、風害から守りましょう。

《仮支柱の例》



30cmほどの短めの支柱を根を傷めないよう、根元から離して立て、苗の茎にゆとりをもたせヒモで支柱に結びます。苗が成長してきたら本支柱に替えましょう。

⑧ どうしても早植えをする場合は定植後、風や低温から守るためにトンネル被覆・苗キャップ・あんどん等の対策をしましょう。(あんどんは使い終わった肥料袋とイボ竹を使って作れます。)



～野菜苗市変更のお知らせ～

野菜苗の販売について

今年から下記店舗で野菜苗を販売します。長期販売になりますので皆様のご来店お待ちしております。

※種苗市としての開催はありませんのでご注意ください。

《野菜苗取り扱い予定時期》

店 舗	開始時期	終了時期
あぐりぱーく八色 TEL025-788-0253	令和6年 5月上旬頃	令和6年 6月下旬頃
アグリセンター六日町 TEL025-773-6121		
四季味わい館 TEL025-783-3983		

※苗の生産状況により終了時期が変更となる場合があります。ご不明な点がございましたら各店舗までお問い合わせください。

SNSによる営農情報の配信(LINE)

JAみなみ魚沼では、LINEによる営農情報の配信を行っております。LINEでは、最新の気象情報や水稲、西瓜、園芸品目などの栽培情報などを配信いたします。

メール配信では無かった、画像を添えた配信などもありますので、多くの方からのご登録をお願いいたします。(スマートフォンアプリ/LINEをインストールする必要があります。)

スマホのカメラを起動し、左にあるQRにかざすと読み込めるよ!



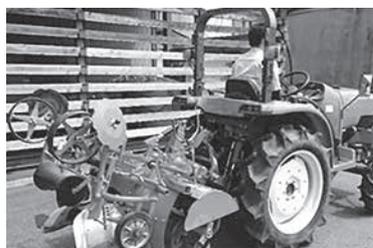
～JAからのお知らせ～

JAみなみ魚沼レンタル機械利用のご案内

春の訪れとともに野菜苗定植の時期がやってきました。JAでは、平高畝立て機や掘り取り機などの農業機械レンタルを行っております。ご利用を希望される方は営農指導課までご連絡ください。

営農指導課 大和 電話 025-777-3786

塩沢 電話 025-782-1171 までご連絡ください。



～南魚沼市農業再生協議会からのお知らせ～

令和6年度 農産物ブランド力強化助成

南魚沼市農業再生協議会では、高品質・良食味米生産や複合経営の推進を目的として、機械・器具の購入費用の助成や、肥料・堆肥散布の作業委託費用の助成を実施します。

① 機械購入助成

高品質化や作業の効率化に資する機械の購入費用を助成します。

対象機械		助成割合	対象者	申請方法
園芸	運搬車	30% (上限20万円)	管内の 農業者	ご希望の方は協議会事務局へご連絡ください。申請用紙など、必要な書類を郵送いたします。 機械を購入する前に申請が必要です。購入した後で申請しても対象外になりますのでご注意ください。 〈申請期限〉7月31日(水)
稲作	葉緑素計 (SPAD)	30% (上限5万円)		
	米麦水分計			
土づくり	ブロードキャスター など	30% (上限10万円)		

② 肥料・堆肥散布作業委託助成

第三者にブロードキャスターによる肥料散布を委託したときや、市内業者に堆肥散布を委託した時の費用を助成します。

助成対象費用	助成額	対象者	申請方法
・第三者に肥料散布を委託したときの作業料 ・市内業者等に堆肥散布を委託したときの作業料	660円/10a (肥料散布・堆肥散布共通)	管内の 農業者	申請をご希望の方は協議会事務局へご連絡ください。申請用紙など必要な書類を郵送いたします。 散布作業をする前に申請が必要です。作業をした後で申請しても対象外となりますのでご注意ください。

予告

次回のJAみなみ魚沼営農情報誌あぜみちは、以下の通りです。

- ・稲作…中干し・溝切り・中間追肥
- ・園芸…夏野菜の整枝と追肥

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 TEL777-3786

◎アグリセンター六日町 TEL773-6121

◎しおざわ基幹センター TEL782-1171